

## (2) 専門研修

### ③ 生徒指導・教育相談に関する研修

※ 問い合わせ先  
相談支援班 022-784-3562

#### 生徒指導・教育相談に関する研修

児童生徒を取り巻く様々な環境の変化を背景として、不登校やいじめ等、生徒指導上の諸課題は憂慮すべき状況にあり、喫緊の課題となっています。これらの問題を改善するためには、児童生徒一人一人の悩みを親身になって受け止め、個々に応じた指導を適切に行うことが必要です。

「生徒指導・教育相談に関する研修」では、児童生徒の心の動きについて理解を深め、生徒指導上の諸課題の改善を図るために必要な理論や技法を学びます。また、個々の教職員の資質向上はもとより、学校が組織として計画的に課題改善に取り組める内容を企画しています。全ての受講者が、日常のあらゆる教育活動において生徒指導の機能を生かし、児童生徒の自己指導能力を育てることができることを期待しています。

詳しくは、各研修会の「目的・ねらい」や「PR・連絡等」、「受講対象者」等を確認の上、お申し込みください。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての基本的な素質</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく豊かな人間性</small>	自己研鑽力	

希望 研修 選択研修等 初任研3年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	E0100	生徒指導研修会 児童生徒の健全な発達を支える学校づくり	申込必要 [定員 100名]
-----------	-------	--------------------------------	-------------------

目的・ねらい 生徒指導上の諸課題への対応について、最新の研究成果を踏まえて支援や取組の実際を学ぶ。また、幅広い学校種や職種の教職員を対象とすることで、発達の連続性や、教育活動全体を視野に入れた生徒指導の在り方についての理解を深める。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月27日(水)	講義・演習	情動の発達を踏まえた生徒指導 ～ 情動からはじまる人間関係づくり～
会場: 総合教育センター		講師: 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター 兼 幼児教育研究センター 利根川 明子 氏
事前・事後の eラーニング (詳細は実施要項)	特になし	

【PR・連絡等】

本研修会は情動の発達をキーワードとし、生徒指導上の諸課題の解決に向け、乳幼児期を含めた長期的視点から学びます。講師には、子どもの情動と学校適応について造詣の深い、国立教育政策研究所の利根川明子先生をお迎えします。

生徒指導の際、児童生徒の感情の取り扱いで戸惑われた経験はありませんか？例えば、児童生徒間の対人トラブルでは、教師側にある「友だちの様子を見れば、どう応答すべきか分かるだろう。」という期待が覆され、問題行動に発展している場合があります。あるいは、児童生徒が自分の感情を爆発させたり、長期欠席に至ったりしたことで、初めて「そんなに気持ちをため込んでいたのか！」と驚かされることもあるでしょう。こうした場面において、私たち教師の中には「何故こんなトラブルに発展してしまったのか？」という戸惑いや、「叱って済む話ではないのでは？」という疑問が浮かんでくるものと思います。

実は、私たちが感情や気持ちと呼ぶものには、感じている本人にしか分からない〈主観的側面〉と、観察可能な〈客観的側面〉があり、後者の観察可能な感情の動きを「情動」と呼びます。代表的な情動に喜怒哀楽がありますが、笑顔や涙、赤らめた頬といった情動のサインは、人間関係づくりの重要な手がかりとなります。具体的には、集団の中で自分の情動を適切に表現できること、そして、他者の情動を理解した上で、時に相手を慮った行動ができるようになることが、円滑な人間関係の基盤です。

生徒指導における自己実現は、単に自分の欲求や要求を実現するものでなく、集団や社会の一員として認められていくことを前提にしています。この前提に立って生徒指導上の課題を俯瞰すると、その多くが〈人間関係のつまづき〉であることから、人と人が育ち合う学校教育において、情動研究の知見を有効に活用した取組が望まれていると言えるでしょう。教職員が情動発達について理解を深め、日々、その発達に働きかけていくことは、子どもたちの自己実現の後押しとなります。多くの教職員のご参加をお待ちしています。

専門研修

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>人材養成能力</small>	たくましく 豊かな人間性 自己研鑽力

希望 研修 選択研修等 初任研3年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	E0200	カウンセリング研修会 児童生徒・保護者とのよりよい関わり方のために	申込必要 [定員 110名]
-----------	-------	--------------------------------------	-------------------

目的・ねらい	学校における教育相談を機能させる教員として、必要な知識と技術の向上を目指し、カウンセリングの理論・技法を活かした児童生徒や保護者との関わり方について研修し、実践的指導力の向上を図る。
--------	---

### 【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

### 【研修内容】

5月25日(水)	講義・演習	カウンセリングの理論・技法を活かした児童生徒・保護者との関わり方 講師：名城大学 教授 曾山 和彦 氏
会場： 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング (詳細は実施要項)	1	事前研修資料の提供

### 【PR・連絡等】

不登校やいじめや他の問題行動については、早期対応が求められますが、未然防止に努めることもとても重要です。学校は児童生徒に安全な場所と安心感を提供しなければなりません。提供するためには、人との関わりが不可欠であり、児童生徒や保護者、地域との信頼関係の構築も必要とされます。カウンセリングに関する理論・技法を活かした児童生徒・保護者との関わり方について研修することを通して、生徒指導及び教育相談に関する資質の向上を目指します。具体的な内容としては、自己理論、行動理論等のカウンセリング理論、基本5技法、I(アイ)メッセージ、勇気づけ、例外探し等に関する講義・演習を予定しています。

講師に、公立学校教諭・指導主事・管理主事としての豊富な経験を持ち、また、全国各地の教育関連研修・講演会講師を務める名城大学教授・曾山和彦氏をお招きします。曾山先生の専門は生徒指導・教育相談、特別支援教育です。著書に『かかわりの糸を結ぶ21の言葉』『時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング』『時々、“オニの心”が出る教師のための10分間セルフカウンセリング』『子どもに学んだ「王道」ステップ ワン・ツー・スリーI』、編著書に『気になる子への支援のワザ』ほか多数があります。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 リーダーとしての 基本的な素質	生徒指導力 学校経営能力	子供理解 組織管理運営能力	学校を支える力 外部連携能力	教育への情熱 人材養成能力	たくましく 豊かな人間性	自己研鑽力

希望 研修 選択研修等 初任研3年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	<b>E0300</b>	<b>いじめ対応研修会</b> 法の理解と組織的対応力の向上を目指して	申込必要 [定員 100 名]
-----------	--------------	--	--------------------

目的・ねらい 法や国の基本方針にもとづいて、いじめの問題に組織的に取り組むために必要な知識や方法等について、講義や演習を通して理解を深め、実践力の向上を図る。

### 【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

### 【研修内容】

6月20日(月) 会場: 総合教育センター	講義・演習	いま学校に求められるいじめ問題の理解と対応 講師: 関西外国語大学 教授 新井 肇 氏
事前・事後の eラーニング (詳細は実施要項)	1	事前研修資料の提供

### 【PR・連絡等】

いじめ問題の本質と最近のいじめの特徴やその背景に関する心理学的・社会的理解を基盤に、現在の学校の対応課題を明らかにしながら、重大事態に関する具体的事例の検討を通して、対応の実際について学びます。具体的には、いじめの見逃し防止、初期対応の重要性、加害生徒やその保護者への指導等です。いじめと正面から向き合い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、問題解決を図るために必要な知識と技法及び組織的対応のためのマネジメント力を習得することをねらいとした、現場で生かせる内容になっています。

講師に、高等学校教諭として豊富な経験があり、文部科学省いじめ防止対策協議会委員、日本生徒指導学会副会長を務める、関西外国語大学の**新井肇氏**をお招きします。専門分野は、生徒指導論、カウンセリング心理学で、生徒指導に関する理論と実践を架橋する研究に取り組んでいる先生です。著書に『「教師を辞めようかな」と思ったら読む本』(明治図書) 『現場で役立つ生徒指導実践プログラム』(学事出版)等があり、全国各地で活躍なさっています。講義・演習を通して、いじめ問題に対する実践力を身に付けることを目的とした研修会です。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく豊かな人間性</small>	自己研鑽力
希望	研修	選択研修等	初任研3年目	中堅研	実助(5年・中堅)	中堅養教	免外

研修会 番号	<b>E0400</b>	<b>不登校支援研修会</b> ～魅力ある学校づくりを目指して～	申込必要 [定員 100 名]
-----------	--------------	-------------------------------------	--------------------

目的・ねらい 不登校の未然防止及び深刻化の防止を図るため、魅力ある学校づくりに向けて、創意工夫のある様々な取組を学ぶことで、不登校対応に必要な知識や考え方を身に付ける。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大専科・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6月9日(木)	講義・演習	魅力ある学校づくりの推進～すべての児童生徒を視点として～ 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 小野 憲 氏
会場： 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング (詳細は実施要項)	特になし	

【PR・連絡等】

本県における不登校児童生徒数は近年増加傾向にあります。不登校を減らすためには、未然防止や初期対応といった予防教育的な対応が必要です。現在、すべての児童生徒を対象に、児童生徒が「学校に行きたい」「学校が楽しい」「学校を休みたくない」と感じられるような「魅力ある学校づくり」が求められています。学校教育・生徒指導に造詣が深い国立教育政策研究所総括研究官の小野憲先生をお招きし、すべての児童生徒を視点とした「魅力ある学校づくり」について、「魅力ある学校づくり調査研究事業」の成果報告を踏まえながら、創意工夫のある様々な取組について、講義及び演習を通して学びます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>人材養成能力</small>	たくましく 豊かな人間性 自己研鑽力

希望 研修 選択研修等 初任研3年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	E0500	学校単位型生徒指導支援研修会	申込必要
-----------	-------	----------------	------

目的・ねらい いじめや不登校など、生徒指導上の諸課題について、児童生徒・保護者への適切な支援方法や組織的な校内支援体制等を学ぶことで、生徒指導に必要な教職員としての資質の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚園	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

月 日 ( )	講義	(例) 不登校の理解と対応 講師：総合教育センター指導主事
会場： 各訪問校	講義	(例) いじめ問題への対応 講師：総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細は実施要項)	特になし	

【PR・連絡等】

公立学校（ただし、仙台市立学校を除く）を対象とした生徒指導に関する講義型の研修会で、不登校やいじめ等、生徒指導上の課題を解決するための支援等について学びます。  
 実施期間は5月23日（月）から12月23日（金）までとし、申込みのあった順番に20校程度の実施を予定しています。  
 なお、研修会の実施日時等は申込校との調整の上決定します。

①申込方法  
 総合教育センターのホームページにある「研修会情報」内の「様式ダウンロード」から「学校単位型生徒指導支援研修会申込用紙」をダウンロードし、代表者が総合教育センターに電子メールで申込みをしてください。

②申込期限  
 令和4年8月23日（火）までお申し込みください。申込期限前の研修会をご希望の場合は、開催希望日の1か月前までにお申し込みください。  
 なお、申込みに関する詳細は、令和4年4月中旬頃に、各市町村教育委員会及び各県立学校にメールで通知します。

専門研修